



一般社団法人SDGs design代表理事
SDGsビジネスコンサルタント
㈱武田工業所 取締役
曾根香奈子 氏

こんなに身近なSDGs ～あなたも実は始めてます～①

こんにちは曾根香奈子です。SDGsについて少しずつ身近になってきましたか？
すでに取り組みを始めている企業もありますが、具体的にどのようにSDGsに取り組めばよいか知りたいなあと考えていらっしゃる方もいるかと思います。
たしかに、SDGsは、環境保護・ジェンダーレス・多様性などなどの目標が多くあり、すべてを理解しようとするとなっちゃうかもしれませんね。
そこで、今回からのこのコラムではSDGsの身近な例として、企業や家庭で取り組みやすいSDGsに取り組む際のポイントをお話しようと思います。ちょっと覗いていってくださいね。



①マイバックやマイボトルを持ち歩く習慣をつけましょ。

レジ袋やペットボトルはプラスチックでできていますが、適切に回収・分別されなかった場合、その多くが海に流されてしまいます。2050年には、海洋中に存在するプラスチックの量が魚の量を上回るとも!!プラスチックをできるだけ流出しないための活動が盛んに実施されています。

そうか!いつもコンビニでついつい買っちゃうペットボトルも家からマイボトルを持ち歩くだけでもいいんですね!お財布にも優しいのも嬉しい!今日から始められるいいアイデアですね!



②できるだけ地元で採れた旬の食材を購入しましょ。

地方の農畜産業が衰退し、経済的に厳しい状況に置かれている自治体が増加傾向にあります。地元の食材を購入することは、地域活性化につながるんです。さらに、距離の離れた土地の食材は、輸送エネルギーを消費し、それだけ二酸化炭素を排出していることになるんですよ。

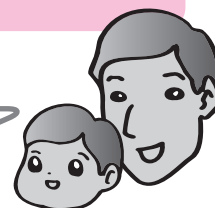
たしかにスーパーで食材を選ぶことなら私でもできるわね。そんなことでもSDGsが始められるなんてお手軽だし、わたしたちのまちが活気付くなら買い物の時にちょっと気をつけてみようかしら。



③地域のボランティアに参加しましょ。

地域に貢献することは企業や家庭でも重要な役割です。ごみ拾いや植林、地域の学校での環境教育など、取り組めるボランティアはさまざまです。地域ボランティアを通して環境の保護や生物多様性の保全など、SDGsに直結する取り組みができるでしょう。

子どもたちが住み続けられるまちをつくることはSDGsの本当の価値なんです。自分の成長にも繋がりますし、何より子どもたちの喜ぶ顔を一番近くで見守れるのは大きな力になりますね。



曾根さんの今月の一言。

『ふとした時に観察してみて』

毎日の生活の中にもほんのちょっとの気遣いで大きく変わるきっかけところがあるものなんです。各家庭が「食品ロスに気をつける」ってだけでも地域全体で見れば大きな変化につながりますよ。